

氏名	くあんてちやくつぶ ちつとちやい KUANDACHAKUPT CHITCHAI
学位(専攻分野)	博士(学術)
学位記番号	博甲第701号
学位授与の日付	平成26年3月25日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当
研究科・専攻	工芸科学研究科 造形科学専攻
学位論文題目	A STUDY OF CHARACTERISTICS AND EXPRESSIONS FOR THAI CONTEMPORARY SOCIAL POSTER DESIGN (タイの社会ポスターにおけるデザインの表現と独自性に関する研究)
審査委員	(主査)教授 中野仁人 教授 野口企由 教授 山本建太郎 教授 並木誠士

### 論文内容の要旨

本論文「A STUDY OF CHARACTERISTICS AND EXPRESSIONS FOR THAI CONTEMPORARY SOCIAL POSTER DESIGN (タイの社会ポスターにおけるデザインの表現と独自性に関する研究)」は、第1章から第5章により構成されている。

「第1章 Introduction」では、タイのグラフィックデザインに見られる特質について定義し、タイの民族性を鑑みた上で、有効なグラフィック表現として「平面性」、「ウィット」、「シンプル」の3つのキーワードを導き出している。そして、そのキーワードに当てはまる日本の伝統的表現および近代の日本とヨーロッパのポスターデザイナーについて言及し、その共通点を検証している。

「第2章 The current situation of Thai design related posters」では、現在、タイで活躍しているグラフィックデザイナーをとりあげ、その図像表現を分析するとともに、続く「第3章 The analysis of current Thai graphic designers related to expression and techniques」で、広告に代表される現在のタイの市街に見られるグラフィックを調査し、その表現方法の分類と分析を試みる。それにより、上記の3つのキーワードの有効性を導き出し、その検証としての自身の制作に結びつけていく。

「第4章 Case studies and design process」では、国際コンペで入賞を果たした著者自身の制作コンセプトおよびプロセスについて詳細に述べ、その表現に関して分析することを試みている。とくに制作の対象とする社会ポスターの目的や対象は、商業的な広告とは異なり、そのメッセージの明快さと受容者に投げかける印象が重要である。その際に、前章までで検証してきた3つのキーワード「平面性」、「ウィット」、「シンプル」が有効であることを制作を通じて実現し、コンペで入賞することによって客観的な実証を得ている。

これらの検証をもとに「第5章 Conclusion and suggestions」では、今後のタイのグラフィックデザインにおける表現の可能性に言及し、効果的な表現の方向性を示唆している。

以上のように、本論文は、これまでタイ本国でもあまり分析されることがなかったタイのポスターデザインについて調査研究するとともに、グラフィックにおいて有効な表現方法の提案を実

際のデザインを通じて実証するという画期的な手段を展開した貴重な論文である。

### 論文審査の結果の要旨

本論文は、タイにおいて社会的なメッセージを発進するポスターの表現に着目し、ポスター先進国と言われる日本あるいはヨーロッパのポスター表現と比較しながら、その特質を明らかにした上で、タイにおける新たな社会ポスターのデザイン手法を確立しようとしたものである。

その際、デザインのキーワードを「平面性」、「ウィット」、「シンプル」としている。それは、タイの図像形成の歴史を振り返った時、それがタイの民族性に合致する表現であり、なおかつ、本研究で比較対象とする日本のグラフィックデザインの中で繰り返し効果的に用いられてきた表現だからである。とくに浮世絵や引札といった伝統的な媒体と、田中一光や福田繁雄といった現代の日本のグラフィックデザインを築き上げてきたデザイナーのポスターに見られる特徴でもあり、本論文ではその表現の特質について論じている。

また、同時に現代のタイを代表するデザイナーのポスターと、現在のタイで作成されているポスターの表現に関して詳細に分析し、タイにおける効果的な視覚伝達の方向性を探っている。

本研究の特筆すべき点は、上記の研究を踏まえ、「平面性」、「ウィット」、「シンプル」を筆者独自の視点で社会的メッセージを伝えるポスターの制作に適用し、数々の国際コンペティションにおいて受賞する事によって、社会的評価を得た研究成果として実証されたことである。

上記のように、本論文は基礎的な作業を踏まえて、さらに独自の視点からの考察を展開、実践したものとして、十分評価に足るものである。

なお、本論文の一部を成す作品は、いずれも国際ポスターコンペの厳正な審査による受賞作品（①～⑤）として、すでに公表されている（京都工芸繊維大学における課程修了による博士の学位授与に関する内規の運用方針第3条関係第2号に規定する「作品、模型、標本等」に関する申し合わせ 第3条（1）平成25年7月3日専攻長等会議決定に基づく）。

- ① Chitchai KUANDACHAKUPT: “Stop continuing effect”, Finalist, 10<sup>th</sup>BICM International Poster Biennial of Mexico, (2008), Finalist, the VIII Eco-poster Triennial, the 4<sup>th</sup> Block (2009)
- ② Chitchai KUANDACHAKUPT: “no reindeer any presents”, Finalist, Tokyo Designers Week, (2010)
- ③ Chitchai KUANDACHAKUPT : “Walls down levels us” , 5<sup>th</sup> Place , 5<sup>th</sup>International Poster Biennial Exhibition, Lima, Peru (2011)
- ④ Chitchai KUANDACHAKUPT : “Biking is infinitely green” , Winner, 2<sup>nd</sup> Chicago International Poster Biennial, (2011)
- ⑤ Chitchai KUANDACHAKUPT : “Safe doggy style” , Finalist, 23<sup>rd</sup> International Poster Biennale in Warsaw, (2012)